

亀岡市議会議員一般選挙 電子投票支援業務 プロポーザル審査項目

1 企画提案評価項目(主観的評価:各委員が採点・計90点満点)

区分	審査項目	評価内容	配点
業務への理解とスケジュール	業務理解度・行程の実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年1月執行に向け、仕様書の目的(利便性向上、無効票削減、開票迅速化)を深く理解しているか。 ・令和8年9月の選挙日程正式決定から10月・11月の機器納品、1月の本番まで、タイトな工程が現実的かつ詳細に組まれているか。 	15
投票所における運営と操作性	投票所運用・有権者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・当日投票所、期日前投票所における名簿照合から退室までの動線・運営案が適切か。 ・高齢者や機械操作に不安がある有権者にも分かりやすい画面表示、操作案内及びデモ機の実演・操作感が優れているか。 	20
開票所における運用と迅速性	開票・集計の迅速性と正確性	<ul style="list-style-type: none"> ・開票所における、機器起動から集計終了までの手順及び処理速度の提案が正確かつ開票時間短縮に寄与するか。 	15
人的支援とバックアップ	人的支援体制・危機管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・立候補届出日のデータ入力、職員研修、投票日前日のオンコール体制、当日の投票所(42人配置)および開票所(2人配置)の支援体制が強固か。 ・機器故障等のトラブル時、初期対応及び専門技術者による迅速なバックアップ体制(機動班等)が具体的に構築されているか。 	20
システム仕様適合度と信頼性	実機による仕様履行の確実性及び安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・検査確認結果報告書に記載された画面仕様が、高齢者や機械操作に不安がある有権者にとっても、特定の候補者に有利不利が生じないよう、均一かつ明瞭に表示されているか(実際の見栄え・操作感の検証)。 ・誤操作や二重投票を防止する制御の挙 	10

区分	審査項目	評価内容	配点
		<p>動が、現場の運用において確実かつスムーズであるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンドアローン型として、管理権限のない者による不正操作を防止する物理的な鍵やロック等の対策が適切か。 ・投票終了後、仕様に定める「正・副」の電磁的記録媒体を、選挙事務従事者が迷わず安全・迅速に取り出し、封印容器へ格納できる構造(構造上の扱いやすさ)になっているか。 	
独自提案と安全性	独自性・付加価値・安全管理	・仕様書を上回る、選挙人や選挙管理委員会にとってメリットとなる特徴的な追加提案があるか。	10
企画提案評価合計			90点

2 客観的評価項目(市選管事務局にて一律に採点・計 50点満点)

区分	審査項目	算定基準・採点方法	配点
業務実績	同種・同類業務の実績	<p>①過去に地方公共団体等において「電子投票導入支援業務」の受託実績があるか。</p> <p>②その他地方公共団体等において、同種・同類又はこれに類似した業務の受託実績があるか。</p> <p>・計算式((ア)と(イ)を合算したもの)</p> <p>(ア)①の業務について 実績あり:10点/実績なし:0点</p> <p>(イ)②の業務について 実績あり:5点/実績なし:0点</p>	15

区分	審査項目	算定基準・採点方法	配点
価格評価	見積価格点	提案限度額(37,000千円)の範囲内で、最も低い見積価格を提示した事業者を高く評価する。 ・計算式 (提案価格のうち最低価格/自社の提案価格)×35点(小数点第1位を四捨五入)	35
客観的評価合計点			50点

<p style="text-align: center;"><総合点評価></p> 企画提案評価(90点×委員5人=450点)+客観的評価(50点)	500点
---	------

【配点基準例】

ランク	評価基準	付与点数(計算例)
A	提案内容が非常に優秀であり、仕様書を上回る高い効果が期待できる。	配点 × 1.0~0.9
B	提案内容が優秀であり、本業務を確実に遂行できる能力が十分認められる。	配点 × 0.8~0.7
C	提案内容が平均的(標準的)であり、仕様書の要求水準を満たしている。	配点 × 0.6~0.5
D	提案内容がやや劣っており、一部に具体性や実現性の懸念がある。	配点 × 0.4~0.3
E	提案内容が劣っている、または該当する提案の記載がない。	配点 × 0.2~0.1